

## 高層気象観測

天気予報は、全国の気象台や測候所、アメダスによる地上における観測、レーダー・気象衛星による観測及び全世界で観測された気象データを大型コンピューターで解析し、数値予報モデルによる計算によって得られた様々な予想資料をもとに行われています。

予報を出すためには、地上付近の気象観測だけでは不可能で、大気の立体的な観測も必要です。この観測のことを「高層気象観測」といっています。稚内地方気象台では、地上における観測のほかに、この「高層気象観測」も行っています。

高層気象観測は、水素ガスをつめた大きな気球に「ラジオゾンデ」という観測器械をつり下げて飛ばし、上空約30kmまでの大気の様子（気圧・高度・気温・湿度・風向・風速）を観測します。

ラジオゾンデは、気温、湿度等の気象要素を測定するセンサと、測定した情報を送信するための無線送信器からなる気象観測器械です。温度と湿度のセンサは、ラジオゾンデから突き出たアームに取り付けられており、データを送るための無線送信器、電池等は、ラジオゾンデの本体（プラスチックの収容箱）内部に納められています。観測を終えたラジオゾンデは、パラシュートによってゆっくり地上に降下します。

ラジオゾンデによる高層気象観測は、世界各地で毎日決まった時刻（日本標準時09時・21時）に行われており、気象庁では、稚内をはじめ全国16か所の気象官署や昭和基地（南極）で実施しています。この他、海洋気象観測船でもラジオゾンデによる高層気象観測を行っています。ラジオゾンデによる高層気象観測で得られたデータは、天気予報の基礎である数値予報モデルや、気候変動・地球環境の監視、航空機の運航管理などに利用されています。

### 気象庁のラジオゾンデ・気球を発見した場合

気象庁で使用している気象観測機器には「気象庁」と書いてあり対処方法・連絡先を記入したラベルが貼ってあります。ラジオゾンデや気球を発見した場合には、お手数ですがラベルに表示されている連絡先へ連絡をお願いします。

問い合わせ先 稚内地方気象台防災指導係(電話:0162-23-2679)  
稚内地方気象台HP [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html)



### 告知端末機 「知らせますケン」 の視聴についての お願い!

告知端末機「知らせますケン」は、通常の行政情報だけではなく、緊急の避難警報など重要なお知らせを放送することがあります。電源は必ず入れて、1日1回は視聴するようお願いします。

### 二月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

詩吟詠む腹からの声息白し

富樫とも子

息白し送迎に馬駆けし頃

横山 貞雄

息白し涙腺とみに弱みたり

藤岡 芙美

空に向け恋する鳥の息白し

三浦 宮吉

ゴミ出しに行き交う今朝の息白し

佐藤 光明

九十九折り枝を頼みの息白し

熊谷千恵子

息白し陽にかたまりて牛の黙もた

田中 徹男